
多面的機能支払 メールマガジン 「農村ふるさと保全通信」 第 119 号(2022, 12.20) 農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第119号をお届けします。今回の活動組織紹介では、①植栽活動で通行する方々の心を和ませるとともに、細かく役割分担を定めることで組織運営や事務作業に多くの会員に参画してもらい、負担軽減と後継者確保に取り組む組織、②環境学習や農作業体験で教育機関と連携するとともに、繁忙期の草刈りについて定年退職者で構成する「草刈隊」がバックアップする体制を構築している組織について紹介します。活動組織の代表者へのインタビューでは、豪雨災害により床上浸水を経験したことから田んぼダムに取り組み、河川上流地域にも取組を促すとともに、農業の後継者育成にも力をいれている事例について紹介します。また、活動組織の広報誌紹介では、多面の活動を身近に感じてもらうため、SNSを活用して写真付きで紹介するなど、多くの方に活動を知ってもらえるよう努めている事例についてご紹介します。事務局からは多面的機能支払イベントカレンダーと全国土地改良事業団体連合会主催のシンポジウム等についてお知らせいたします。

--第 119 号の目次-----

- 1. 活動組織の紹介
 - かみに しね はちちょう の ☆上西根・八丁野環境保全の会(岩手県 雫 石 町)☆ ☆松永あんじょうしょう会(福井県小浜市)☆
- 活動組織の代表者へのインタビュー
 ☆清菅SHK クラブ (三重県松阪市清水町) ☆
- 3. 活動組織の広報誌紹介 ~ 多気の彩土里会(三重県多気町)~
- 4. 令和4年度 12月・1月多面的機能支払イベントカレンダーを作成しました!
- 5. 「農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム」及び「多面的機能支払活動の効率化・効果的転回に向けた全国研修会」開催のご案内 (編集後記)

■1. 活動組織の活動紹介(1)~上西根・八丁野環境保全の会(岩手県 雫 石 町)~■

~地区概要~

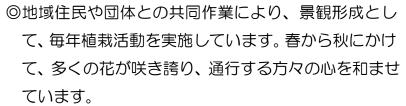
本活動組織は岩手県の西部に位置する雫石町の北部で活動しており、活動範囲は、田 119ha、水路 22.1km、農道8.0km となっている。

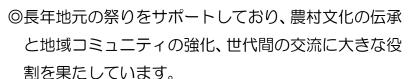


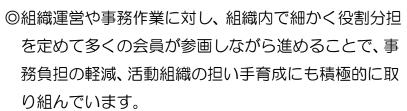
農用地周りの草刈作業

~主な取組~

◎活動組織が自治会と連携し、定期的に農用地の草刈りや水路の泥上げを実施しているほか、農業用施設の点検、機能診断による劣化状況に応じて補修を行っており、軽微な補修については、直営施工を行っています。











施設の見回り点検



植栽活動



どんとこ祭り

■1. 活動組織の活動紹介(2) ~松永あんじょうしょう会(福井県小浜市)~ ■

~地区概要~

本組織は福井県小浜市東部に位置し、平成29年に一般社団法人化している。9集落と土地改良区、営農法人等が連携し活動しており、若狭おばま農地環境保全広域協定に参加する活動組織である。

活動範囲は、田 150ha、開水路 7.5km、パイ プライン 18.7km、農道 14.9 km となっている。



- ◎ 水路や農道等の保全活動は、集落周りは各集落が、それ以外は営農組織で実施する役割としており、営農繁忙期には、営農組織内の定年退職者で構成する「草刈隊」がバックアップする体制をとっています。
- ◎ 希少種やホタルが生息する地域内を縦断する松 永川で自然環境に触れる場として、小学校と連 携し、営農組織の若手就農者が里山楽校として 環境学習会を開催しており、動植物の保全に取 り組んでいます。
- ◎ また、園児や小学生の農業体験の場として伝統 的農法により田植えや稲刈り、ふれあい農園で のサツマイモの苗付け、芋掘り、田んぼアート などを若手就農者や各種団体が連携して行って います。教育現場からも喜ばれており、秋には 感謝祭が行われています。
- ◎ 今後も、地域の農業や自然環境を良好な状態で次世代に繋げるために、一般社団法人、土地改良区、営農組織は三位一体となった地域運営体制の強化と、活動の質的向上を図っていきたいと思っています。

【松永あんじょうしょう会 会長 西田尚夫】



草刈隊



水路での生きもの調査



伝統的農法による田植え



サツマイモ掘り

■2. 活動組織の代表者へのインタビュー~清誉SH クラス(三重県松阪市清水町)~■

組織の概要

活動開始時期:平成29年度

~インタビュー ~

Q:組織の立ち上げについて教えてください。

A: 15年ほど前に櫛田、清水、菅生地区の3地区でSH Kクラブとして活動をしていました。5年間ほど活動 をしたときに櫛田地区は独立し、清水地区と清菅地区 の2地区で活動を行うこととなったため、清水地区の 「清」と菅生地区の「菅」を使い、現在の「清菅 SHK クラブ」となりました。

Q:組織名の「SHK」とはどのような意味ですか?

A: SHKクラブとは、「精魂の郷(せいこんのさと)保全・管理クラブ」という意味です。平成 14 年度に竣工した県営ほ場整備事業で、大区画ほ場整備を実施しており、櫛田土地改良区が設置した記念碑に「精魂の郷」と刻まれたことから組織名として使用いたしました。

Q:組織を運営する中で苦労したことを教えてください。

A:以前、営農組合長を 20 数年やっており、ほ場整備を実施したときに、120 町歩(約 120ha)で3人のオペレーター(担い手)を選出しましたが、整備していただいたほ場をどう守っていくのか苦慮しました。みんなで草刈を実施したり、ツツジを植えることで美観を形成したりしていますが、このような活動



代表の安達正昭さん ※写真撮影時のみマスクを外しています



活動の PR 看板



対応いただいた清菅 SHK クラブの 役員のみなさま

※写真撮影時のみマスクを外しています

は組織のメンバーだけで実施するのではなく、非農家、老人会、子供会の方々が一緒になり、地域でタイアップ(協力)して今後も続けていかないと長続きしないと思います。

Q:代表として心がけている事を教え下さい。

A:毎月1回、清水地区と菅生地区の役員会に出席し、役員の話を聞くようにしています。 会社に勤務しているときから実行していることですが、みなさんの話を聞きたいので、

ー言は話をしてもらうようにしています。意見に 困っているときはこちらから話をします。

Q:特に力を入れて取り組んでいる活動内容を教えて ください。

A: 櫛田営農組合は2年3作で米、麦、大豆を隔年で約50%の転作を実施しています。本年は「田んぼダム」を26.58ha の水田で実施していますが、当地区のような下流地域で実施するだけではなく、上流地域の皆様に理解してもらい、「田んぼダム」を広めていきたいです。



田んぼダム取組状況の様子

Q:どのタイミングで「田んぼダム」を知ったのですか?

A:以前参加した多面的機能支払交付金の集いで「田んぼダム」の話を聞きました。その時は、あまり関心はありませんでしたが、菅生地区で床上浸水が発生し、集いで話のあった「田んぼダム」のことを思い出し、実施することとしました。

Q:「田んぼダム」を実施するうえで苦労したことはありますか?

A: ほ場整備で設置された排水桝は同じ大きさなので、基本的には使用する堰板は同じ大きさでよいのですが、トラクターの接触等で排水桝を壊してしまい、個人で更新した場合、同じ大きさの堰板を使用できなく、自分で堰板を切って大きさを調整しないといけないことです。

Q:「田んぼダム」を広めるためにはどうしたらよいと思いますか?

A:「田んぼダム」は広域で行うことが大切で、下流地域だけで実施しても効果は薄いと思います。上流地域にも「田んぼダム」の話を広めていくことや行政側からも声かけをしていくことが大切だと思います。みんなの心がけで浸水被害を防げることもあるということを訴えながら勧めていきたいです。一人だけでなく、みんなの力を結集して物事

に取り組むことが大切だと思います。

Q: 今後の展望や目標を教えてください。

A: 地域の農地全体を守り、育てていきたいです。また、農地はオペレーターに集約されており、オペレーターを補助し、育てていく必要があります。そして、地域の融和と活性化のため、地域で話し合っていきたいです。

【原稿作成者:東海農政局農村振興部農地整備課】

■3. 活動組織の広報誌紹介 ~多気の彩土里会(三重県多気町)~■

な報誌 「多気の彩土里会たより」の概要

- ◇多気の彩土里会では、活動している方や地域住民の方々に活動内容や事業の趣旨を理解 していただくために、年に1回、広報誌「多気の彩土里会たより」を活動している地域 の全戸に紙媒体で配布しています。
- ◇広報誌には、一年間に行った活動について、活動に参加している様々な人や活動の様子を写真で紹介することで、沢山の方の手でこの地域の資源や環境を守っていることが伝わるように工夫しています。
- ◇広報誌を作成するにあたっては、彩土里会の活動をより身近に感じてもらえるよう、活動が一部の限られた人だけでなく、より多くの地域の方々に参加してもらいたいという思いを込めています。

~ 工夫しているポイント ~

★ポイント1★:活動エリア内の全集落の活動を写真で紹介!

令和元年に広域活動組織として活動を開始してから1年足らずでコロナ禍となり、彩土里会の活動を知ってもらう機会が少なくなったことから、活動エリア内の全集落の活動を写真で紹介することで、より身近な活動であることを知ってもらえるように工夫しています。

★ポイント2★:農業に直接関りのない地域住民の方にも親しみやすい活動内容も写真で紹介!

荒廃農地の発生防止と有効活用のため、植栽や地域の学校との連携などの活動についても紹介し、親しみやすい内容にすることで、より沢山の地域の方に気軽に活動に参加してもらえるように工夫しています。

★ポイント3★:活動組織で運営している「インスタグラム」を紹介!

景観形成活動の作業風景や季節の農村風景などの写真を掲載している「インスタグラム」についても広報誌で紹介しています。「インスタグラム」ではより多くの方に活動を知ってもらえるよう、活動で育まれた農村風景を楽しんでもらえるように工夫しています。

★ポイント4★:広報誌と併せて「イロドリ通信」を配布!

植栽などの景観形成活動を特集した「イロドリ通信」(春と秋の年2回配布)を 広報誌(年1回配布)と併せて配布を行い、地域住民の方も親しみやすくなる よう工夫しています。 多気の彩土里会たより 4号





作業風景

地域で農村を守る

水路·池草刈(5-10月)

多気の彩土里会

3年目の活動報告

多面的機能支払交付金制度を活用した、津田地区を中心とする「多気の彩土里会」R3年度の活動の一部を紹介します。

農地維持支払







水路・水槽の掃除(4月)



各地区例年と同じように田植えの前には樋堀(泥上げ)水槽 の掃除、春~夏にかけては草刈(水路・農道・ため池)が行わ

他にも地区によっては、ゲート保守管理(注油や再塗装)、 農道の路面維持、池の泥吐け掃除、獣害柵の整備、水利施設の 点検作業(住民 or 業者)も行われました。

資源向上支払(軽微な補修)

1作業風景







池掃除(10月)







各団体から申請のあった補修箇所の内、軽微なものは 10 箇 所あり、早急に復旧が必要な補修などは専門業者へ依頼しまし たが、その他は直営補修として申請地区の方と作業隊により補 修を実施しました。

1 自分達で補修・更新した施設は今まで以上に愛着がわきますね。 現在作業隊には17名の方が登録されています。大変な作業も 多いですが、地元のためにと和気あいあいと作業されています。 今年も秋以降に各地区で作業予定です。

資源向上支払(長寿命化) ------

老朽化した施設などの補修・改修を直営工事(8箇所)と外注工事(1箇所)で行 いました。直営補修は申請地区の方と作業隊も参加し、地域内の力で補修・更新 工事を行いました。 1作業風景





















【ポイント1】活動エリア内の全集落の活動を写真で紹介

【ポイント2 】農業に直接関りがない地域住民の方にも親しみやすい活動内容も写真で紹介



【ポイント3】活動組織で運営している「インスタグラム」を紹介

【ポイント4 】地域住民の方にも親しみやすい植栽等の景観形成活動を特集した 「イロドリ通信」も併せて配布

湿田を利用した花畑で場所は天啓池 のすぐ近くですよ。思ったより広大 で小屋や小池もあって素敵です。

5/25 の様子

作業している 菖蒲は 梅梅の時期だけの 花ですが一年中世話を しないと美い花は咲いて

くれません。四季折々の花も 育てていますので週2回午前 は畑にいます。一番多い作業 は草取りですが、一年中咲 かせているのは

『おしゃべりの花』 でです。



毎年はどんな文字に しようかな?と考えて みえます。今年の文字は… 奥にみえるのは○○ちゃんマーク。

睡蓮の咲く かわいい小池



の溜池を、ハス池として 活用し管理しています。春先 には枯枝などの除去作業を行な い、花の見頃の7~8月に 綺麗 な花が咲く様に頑張っていま すので見に来て下さ

多面的機能支払交付金を活用

ひまわりの種 まきました



一部いただいた種や昨年とった 種をまきました。 見頃は7月中旬ごろです。



今年はお試しで 雑穀のもち粟と 地元野菜の伊勢

芋も少しですが育てて います。伊勢芋は流行 りの白マルチです。

作業している今

きれいなヒマワリが咲い てくれる事を楽しみに、みん なで楽しく種をまきました (^-^)



大麦は6月に収穫します。 欲しい方みえたら事務局まで連絡下さい。 麦茶やストローなどで使って頂けますよ。

よに作 冬 加 者 てま

多気の彩土里会 事務局

【ポイント3】 活動組織で運営している 「インスタ」を紹介

■4. 令和4年度 12 月・1 月多面的機能支払イベントカレンダーを作成しました!■

多面的機能支払交付金の情報発信として、本交付金に関する各地のイベントの日程などをまとめたイベントカレンダーを作成しました。本交付金についてより深く知りたい方に他組織の活動の様子を参考にしていただくなど、多くの方に活用していただきたいです! 本メルマガ掲載時より、イベントの情報が更新される可能性があるため、詳細は問合せ先までご確認ください。

月	В	曜	都道府県	イベント名(主催者)	問合わせ先
12月	22日		兵庫県	ひょうご水土里の豊かなふるさとフォーラム (兵庫県、兵庫県推進協議会)	・問合せ先 兵庫県推進協議会 (078-362-343)・詳細は協議会HPに掲載
1月	上旬		青森県	活動組織リーダーの集い(青森県推進協議会)	・問合せ先 青森県推進協議会 (O17-723-2404)・詳細は協議会HPやSNSに掲載
2月	1日	水	大分県	大分県農業・農村多面的機能支払シンポジウム (大分県多面的機能支払推進協議会)	・問合せ先 大分県多面的機能支払推進協議会(097-567-6631) ・大分県多面HPホームページに公開
	4日	±	奈良県	農村振興シンポジウム (奈良県、奈良県多面的機能支払推進協議会)	・問合せ先 奈良県農林部 (0742-27-7453)・詳細は奈良県農村振興課のHPに掲載
	7日	火	長崎県	活動組織の集い (長崎県農地保全推進協議会)	・問合せ先 長崎県農地保全推進協議会 (095-816-3636) (nagasaki.nkyougikai@ntr.or.jp)
	9日	木	香川県	多面的機能支払中国四国シンポジウムinかがわ (香川県多面的機能発揮促進協議会)	• 問合せ先 香川県多面的機能発揮促進協議会 (087-832-7140) (tamen-kagawa@midorinet- kagawa.or.jp)
	上旬		石川県	令和4年度農村振興リーダー研修 (全国農村振興技術連盟)	・問合せ先 全国農村振興技術連盟 (O3-3434-5407)
	中旬		鳥取県	令和4年度多面的機能支払研修会 (鳥取県農地・水・環境保全協議会)	・問合せ先 鳥取県農地・水・環境保全協議会 (0857-38-9500) ・詳細はHPに公開予定 http://www. totirengogonet.or.jp/kyogikai/
	中旬		新潟県	多面的機能支払制度研修会	新型コロナウイルスの状況を踏まえて 実施の可否を検討
	未定		関東農政局	関東農政局多面的機能発揮促進事業 局長表彰 表彰式	・問合せ先 関東農政局 (048-740-0551)
3月	14日	火	北陸農政局	北陸農政局多面的機能発揮 促進事業優良活動表彰 (北陸農政局)	・問合せ先 北陸農政局農地整備課 (076-263-2161)
	中旬		滋賀県	滋賀県世代をつなぐ 農村まるごと保全推進協議会総会 (滋賀県世代をつなぐ 農村まるごと保全推進協議会)	・問合せ先 滋賀県農村まるごと保全サポー トセンター (0749-59-3636)

■5.「農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム」及び 「多面的機能支払活動の効率的・効果的展開に向けた全国研修会」 開催のご案内(全国土地改良事業団体連合会)■

全国土地改良事業団体連合会では、農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた今後の方向性を考える機会とするとともに、多面的機能支払に係る活動や活動に対する理解の促進を図るため、「農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム等」を開催します。ぜひご参加ください。

▽日程▽

第1部:令和5年1月23日(月)13:30~16:30 第2部:令和5年1月24日(火)9:30~12:00

▽開催場所▽

砂防会館別館1階シェーンバッハ(淀、木曽)他 (Web 配信も併用)

▽イベント内容▽

第1部 農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム 主な対象者:多面的機能支払の活動組織や、都道府県・市町村レベルの推進組織の関係者、 一般の方等

第2部 多面的機能支払活動の効率的・効果的展開に向けた全国研修会 主な対象者: 多面的機能支払の活動組織や、都道府県・市町村レベルの推進組織の関係者等

▽参加費▽

無料(事前の参加登録が必要です)

▽申込み・問合せ先▽

全国土地改良事業団体連合会 企画研究部内

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 4 階

TEL: 03-3234-5480 FAX: 03-3234-5670

E-mail:h_matsuno@inakajin.or.jp

◎イベント詳細(全国水土里ネットホームページよりご確認いただけます)

https://www.inakaiin.or.ip/

【全国土地改良事業団体連合会】

■ 編集後記 ■ 😇

読者の皆様こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。サッカー日本代表は初のベスト8まであと一歩のところで挑戦が終わってしまい、すごく悔しかったです。さて、12月となり駅にはクリスマスツリーが飾られ、街中がクリスマス気分になってきています。クリスマスが過ぎるとすぐに年末になりますが、みなさんにとって2022年はどのような年だったでしょうか。私は大学生から社会人になる大きな転換点となる年で、まだ周りには迷惑をかけることもありますが、大きく成長できた年となりました。新型コロナウイルスの影響はまだありますが、来年は今年より楽しく、良い年になることを祈っております。すこし早いですが、皆様良いお年を!

それでは次号もお楽しみに!

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇ https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます!→



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇ ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。 活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください!! https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/

nouson furusato hozen/index.html



◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

tamen_siharai-31.pdf

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

https://www.maff.go.ip/i/pr/e-mag/re.html

◇多面版 SDGs アイディアシート(案)◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文(300字程度)等に関するメールをお待ちしております!!

tamen ml@maff.go.ip

------【発行】------〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1 農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室(担当:近藤、藤原) TEL:03-3502-8111(内線 5493)
